

都市計画案に対する意見書の要旨及び区への回答

都市計画の種類及び名称：東京都市計画地区計画 笹塚駅南口地区地区計画

	縦覧期間・場所	意見書の数
都市計画案の縦覧・意見書の提出	令和5年2月20日から 令和5年3月6日まで 渋谷区役所 都市整備部都市計画課	1通

【意見書の要旨と区への回答】

笹塚駅南口地区地区計画に対する意見

意見書の要旨	区への回答
<p>地区整備計画に、京王線高架下スペースの活用を検討していただき、広場、壁面、屋上の緑化を維持管理していくために地域住民がボランティアできるよう、活動拠点となるようなスペースを設けられることが望ましい。</p> <p>そこではマンションや公共空間、近隣の住宅地では出来ないような音の出る作業などが可能なスペースとされ、S-SAP協定企業と連携したワークショップや、料理教室、読書会、などが開催される。またイベント開催時のみでなく、日常的に利用できるよう、コミュニティーコンポストや、アップサイクル資材置き場、3Dプリンター、レーザー加工機、卓上ボール盤、などを備える。</p> <p>笹塚地域で、388FARMや未来の学校の先駆けとなるような場所を設けることで、社会や環境へ配慮した行政や企業、団体等の取り組みなどへの理解を深めることが期待される。</p> <p>子供からお年寄りまで楽しめる「未来の学校」の部活動として利用されることを望む。</p>	<p>地区計画変更案の地区施設の整備の方針の中で、新たに「4 歩行者ネットワークの一部として地域の回遊性を向上するとともに、建築物や高架下と一体となったにぎわいを創出し、災害時の避難場所や日常の憩い・交流の場となる広場の設置を図る。」と定めることにしております。この方針に基づき、C地区北部に地区施設として広場3号を設けることで、開発予定建物と高架下で一体となったにぎわい形成へとつなげていくことを図っております。また、開発建物の中には地域に開かれた交流施設として、ササハタハツまちづくりの拠点が導入される予定となっております。京王線高架下スペースに関しては、C地区の外に位置し地区計画区域に含まれておらず、地区整備計画の中にも含めることは難しいものの、いただいたご意見については、開発事業者と共有すると共に、今後高架下スペースを整備する際には長期的なまちづくりの視点として参考にさせていただきます。</p>